

あなたもお読みください
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3,497円
日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943 (高橋)

(毎月赤旗読者に配達)

(民報のみは月100円)
発行 日本共産党・手良支部

市民・野党の共闘を進めるならば改革の政治が見えてくる

日本共産党手良支部長 木村林太郎

明けましておめでとございませう。

昨年の参議院選挙を初め手良地域の皆さんに大変お世話になりました。心より感謝を申し上げ新年のあいさつをさせていただきます。

参議院選挙においては野党と市民の共闘により32の一人区選挙区にて野党と市民の共闘が実現し11人の当選者を出すと夢にも思えないことが実現しました。御協力ありがとうございました。

野党と市民の共闘が出来なければ野党はせいせい二人当選させるにとどまったのではないかと言われています。

「戦争法」を施行し、昨年11月には内戦状態にある南1

ダンに自衛隊を派遣させました。ここで自衛隊と市民との衝突があれば殺され殺すことすらありうるのではないかと懸念しています。一刻も早く自衛隊は南1ダンから撤退すべきだと思っております。

そして安倍政権は昨年12月国会において自民・公明・維新とともに嘘と偽りをもった数を力にTPP承認、年金カット法、カジノ解禁推進法の三大悪法を強行採決してしまつた事には憤りを感じています。

五区の自民党の代議士はどのような態度をとつたのでしょうか。TPPは国会で反対決議をしていきました。裏切りではないでしょうか。

日本共産党手良支部は党の



最近気になることの一つに、大学や研究機関の軍事研究問題があります。

全国の大学では文部科学省の研究助成費用が削られてきて、変わって防衛省が軍事関連の研究に関するものであれば予算をつけるというものがあつてきています。

これは大学や学者の世界のことであり、一般の国民生活には関係がないという考えもあるかと思いますが、果たしてそうでしょうか。

すでにいくつかの大学では手を挙げて助成を受けていると報道されています。

これまで軍事関連の研究には慎重であった日本学術会議(大学教授や学者たちが学問研究の在り方を議論する会議)も、内部で対立があるようです。わざと文部科学省の研究助

成を減らして、研究費の不足に悩む研究者たちを防衛省の軍事研究へと誘導する方法ではないかと勘繰りたくありません。

考えてみれば、安倍政権になつてから、例の戦争法(安全保障関連法)を強引に成立させた後、武器輸出三原則をゆるめたり、原発を輸出したりと、戦争関連の政策を強く押し出しています。

これとともに防衛省内部では、以前は背広組(文官ともよばれる一般官僚)の発言権が弱かつたのに対し、制服組(官自衛隊幹部)と対等に扱われるようになってきました。

これは戦後守られてきたシビリアン・コントロールの原理原則をくつがえすもので、シビリアン・コントロールとは、戦前軍部(陸軍大元帥・海軍大臣をはじめ軍幹部)が政策決定や予算編成に大きな発言権を持ち、結局は戦争へ突き進んでいく歴史を反省し、軍の首脳部の発言権を

理念を地域の皆さんに伝え理解を得ながら皆さんの不満や憤りを、要求をくみ実現するよう頑張りたいと思っております。

次期参議院選挙には市民と野党の力強い共闘が進み、自民・公明・維新が逆にならぬよう地域の皆さんと力を合わせ頑張りますのでどうか御協力をお願いします。

手良地区では昨年公民館(てらとびあ)も完成し地区民のよりどころが出来あがりました。区民の絆を強め社会教育をもとに文化の発展が期待されます。

また地区内には様々な課題があります。手良民報などで様々な状況をお知らせし地域の活性化と発展に貢献できたいと思っております。

小さくし、一般の役人が政策決定に大きな権限を持つようになり、憲法9条が背景にあると考えられます。しかし、安倍内閣で、この戦後の大切なレガシー(遺産)は無くなつてしまつてしまいました。

例えば、戦前の国会審議でこんな事件がありました。1938年(昭和13年)3月3日、衆議院の委員会においで、国家総動員法(人材やすべての物資を戦争進行のために国家が統制するもの)を説明するに際し、陸軍省軍務局長の佐藤賢了(けんりょう)少佐(陸軍中佐)のエピソード(その陸軍中佐)が説明が長すぎるという議論の席次で有名「黙れ」と叫んだ事は軍の横暴を象徴したものです。(続) 北原明



一年間ご苦労様です 手良地区の区長

- 手良地区の本年度の区長が決まりました。
- 中坪 酒井 高橋 俊行
 - 伊東 敏彦
 - 野口 後藤隆 鷺澤 哲男
 - 池上 義博
 - 下手良 伊藤 高、鈴木 孝
 - 高橋 隆一
 - 八ツ手 向山 昭、竹内 春利
 - 手良 向山 昭、竹内 春利
 - 副区長 伊藤 高

手良への誘導標識 設置される

懸案となつていた箕輪から手良への誘導標識が箕輪町福手卯の木信号北に昨年11月に設置されました。

高さ3メートルで今回は一か所だけですが、「手良 3km」の表示もなされています。

設置費用は約10万円です。各区からの区長負担金で支出されています。

現在手良への誘導標識は美濃郵便局前道路(人口2か所)芦原沢の等原への人口に2か所設置されています。



卯ノ木入口誘導標識

イルミネーション ハツ手公民館

恒例のハツ手公民館の節道のイルミネーションは去年も道沿いに綺麗にかがやいていました。ハツ手公民館の事業の一つとして年末の地域をきれいに彩る



イルミネーション

手良衛生自治会の春季総会は1月26日から手良公民館で行われ、各分会からの衛生班長が出席しました。

29年度の役員は会長が清川 博明(中坪)、副会長が竹内 良知、支部長が向山 昭、野口 昭、向山 昭、下手良、向山 昭、竹内 良知の各氏が選出されました。

手良衛生自治会の目的は「伊那市連合衛生自治会」と密接な連携の下、手良地区内における廃棄物の適正な処理(分別、保管、収集等)並びに地区内の清掃を行うことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることにあります。

29年度の事業計画では3月12日「正月1日は河川一斉清掃、1月11日は電池・蛍光灯等回収、6月中旬に環境美化及び乱空き缶回収、6月下旬に一斉除草、6月下旬に衛生施設の研究視察、環境衛生及び保健衛生活動の推進などを行なう予定です。

なお中坪(3名)、野口(3名)、下手良(2名)、八ツ手(2名)の保健委員も役員として会長が委嘱し、研修視察などには一緒に参加しています。

生活環境の保全を因って 手良衛生自治会の春季総会

うと十数年前から毎年設置されていきます。子供たちが大喜びです。今年は小屋の方へ広げました。

節電のためLED(発光ダイオード)を使つて電圧が、昨年より1月13日に準備し12月31日までタイマーにより午後5時10分から10時まで毎夜点灯しました。

「てらとびあ」ハツ手の元巨ラッソが過ぎ、小学生のどどど嬉々も終わつて今年も始まる。それにしてもハツ手のマラソンは節道のイルミネーションと共によく続いている。20年以上前からやっているようであるが先達の始めた良いレガシー(遺産)を続けていくのだ。今年の正月は松の内は珍しく良い天気が続いたが、トランプアメリカ大統領の出現で今年は天気ばかりでなく世界の情勢も思わぬ事態があるかもしれない。日本でも解散権は首相にあるので何も言えないが、今年のうちに総選挙もあるだろう。野党と市民の共闘で今の政治を改革したいものである。▼「新春の主張」として「軍事研究問題に思うこと」を原稿いただいた。1月19日の信濃毎日新聞のトップ記事で「信州大学が本年度、学内研究が軍事目的の技術に利用される恐れがないか審査する仕組みを導入し、運用を始めた」と報道された。「国立大学への補助金が減少する中、防衛省が引き付ける巨額予算は研究者を引き付けている」との見方もある」とも述べている。手良民報への記事は今後2回にわたつて掲載されるが、歴史的にも深く究明されている。乞うご期待を▼手良小学校の読み聞かせボランティアにしろ立場は違ふかもしれないが手良9条の会のスタンディングも継続していくことの大切さを感じる。ご苦労であるが、続ける中で必ず効果は出てくることを信じてたい▼大変である世の中だが明るい希望をもつて今年も元気で頑張りたい。

「ついでに」 新築を機に クリスマス会

子どもたちから熱望する声もあり、以前から温めていた、私の主宰する「アノ教室」初めてのクリスマス会を、手良公民館（ついでに）で、新築を機に行うことになりました。

折角の機会だから、と手良界隈の子どもの交流の場になればと思い、お友達兄弟にも声を掛けました。

当日は、クリスマスソングが流れる真新しい広い講堂に、40人近い子どもたちが集まり、みんなが歌ったり、ヒコチンチンで競う伝言ゲームなどで交流を深めました。

下は木更見から上は高校生と年齢差は加えて、手良をはじめとして美濃、伊那北、箕輪に南箕輪といった様々な地域から集まったにも関わらず、誰とも隔てなく仲良くする姿、自然と高学年が小さい子たちの面倒を見てくれるという微笑ましい姿も見られました。

ジュースやお菓子でテーブルを開いてお茶、この日のために駆けつけてくれたサンタさんが鈴を鳴らしつつ、嬉しかった子どもたちからは、歓喜の



クリスマス会

生活雑記 今年もよろしくお願 い申し上げます

154

小松和江

今年の新年は素晴らしい晴大に恵まれて、何となく良い事有りそうなきがしたのも束の間、寒が入った瞬間、まあまあ寒い寒い日が続いてお手上げです。今日の仕事を明日に延ばし、早起きするのが嫌だねえと寒さを感ずりながらの暮らしです。

書くことも読むこともまだ嫌になりホォーとして時間を無駄に過ごす、ああ気象、、、こんな生活大好きです。

でも心の何処かで、呆けるので、呆けるのでと一番いいし、くれない言葉がささやくんです。

困った事にならないうちに、一寸だけ書く事、真似事をしてみよとか、苦役の選択をしたのですが、これも不安です。

指図を多々頂きたりお頭をつけてみますので、宜しくお願ひします。

昨年及今年も大晦日を二人で、、、の言葉に戻すが、、、有難う

野菜作り体験記

山下兼幸

ジャガイモ、ニンジン、タマネギといえは向れもカレライナスには必須の野菜です。この三つの野菜は昨年北海道に下陸した台風がもたらした大雨により、壊滅的な被害を受けたことはテレビのニュースで御存知のことと思います。

そのジャガイモですが、私は他の原因で作成できず、その原因は私的では、ここ二三年自分の畑で収穫したイモの中で小さいイモを翌年の種イモにしたことだと思っています。

またアントウマンタマシにもやられた。消毒もしたがそう向回もやれない。死滅したかと思えば、またそこからやってくる。冬場と春場とで腐んでいける。症状は、よくいう「今年のイモは肌が荒れているチエ」というあの症状です。それを「そうか病」（チエ病）とは、かさぶたの意味をうです。

そしてジャガイモの後作にダイコンを作った。ところがそのダイコン、葉が伸びない。また腐っていた。こんな症状は初めてだ。また抜いてみるも腐っている。そこで農文協の本を見たらジャガイモの後作にダイコンは避けた方がいいとか。



ハツ手区マラソン

今年も恒例のハツ手公民館主催の元旦マラソンが1月1日の朝行われました。

6時30分のNHKラジオ体操を行い地元神社を参拝しながらのマラソンを行いました。

その後、今年の正副区長と公民館分館長、新任公民館主



ハツ手元旦マラソン

どんと焼き

今年も珍しく松の内は良い天気が続きました。

正月の行事である「どんと焼き」が小学校PTA各支部の主催で1月11日の午前中に各地区で行われました。

寒い朝でしたが、そのうちの中坪では一中坪運動公園で行われ子ども達、父母など約80名が参加しました。

雪を抱いた西駒ヶ岳が良く見える場所、しめ飾り、門松、古いたるまなど勢いよく燃え上がり、焼かれた紙は上昇気流に乗って高く舞い上がりました。

最後に参加者は残り火でお餅を焼いて食べました。



どんと焼き

読み聞かせボランティア

手良小学校

手良小学校の「読み聞かせ」にはボランティアの皆さん11名が登録されています。

ボランティアの皆さんは原則として毎月1回を目安に火曜日（8時30分から）8時40分には読み聞かせを行っています。

学校では子供たちが楽しめる話や、大切なことを考えさせる話など、いろいろな本を選んでいただき、子どもたちは時間の経つのも忘れて聞き入り、子どもたちの読書への関心が高まったと感謝しています。

冬の読書期間中の1月9日、10日数回から出している年分を作り、11日（土）に使うと電気と通ったやわらかな暖かさがあった良いこと。

蟹沢では3軒ばかりが炭を焼いているようです。

炭を焼いています

野口蟹澤の那須野智博さん（85歳）は、昔々も手伝って家の入口に炭窯を築いて冬の間に炭を焼いています。

梅・松などは良いようです。



炭焼き窯



待合も草（の）の心に寒さを感じる雪に覆れた南大枝でおこしけり森のわきまの音きく、一度三度雪消とけて進むらがる足止めて蜘蛛くもの糸風も吹かすにゆらしている

中坪公民館で絵手紙教室やっています



小松栄子

連絡先 西井 7811099

14回目のスタンディング

手良9条の会

ノンフィクション作家の澤地久枝さんが呼びかけ、俳人の金子兜太さんが描いた「アベ政治を許さない」のイラストを掲げて毎月3日に午後1時から30分間立ち全国一斉に行っているスタンディング。

手良9条の会では毎月行っている14回目になります。三日前の1月3日に行いました。

中坪公民館前国道に7人が立ちアピルし、30分間に500台の車が通りました。



スタンディング

（おねがい）身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思っております。何かありましたら左記までご連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋